

第七十五回帝國議會 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)

委員會會議錄(速記)第十五回

會議

昭和十五年三月十三日(水曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長代理 理事坪山 德彌君
理事深澤 吉平君 理事森 幸太郎君
高田 耘平君 今成留之助君
岡野 龍一君 小笠原八十美君
小串 清一君 須永 好君
平野 力三君 村上 元吉君

三月八日委員山川頼三郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ小笠原八十美君ヲ議長ニ於テ選定セリ
同月十二日委員吉田賢一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ小野謙一君ヲ議長ニ於テ選定セリ
三月七日家畜傳染病豫防法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)、牧野法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)及獸醫師法等ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席政府委員左ノ如シ

陸軍歩兵大佐 河村 參郎君
陸軍主計大佐 森田 親三君
農林政務次官 岡田喜久治君
農林省畜産局長 岸 良一君
馬政局長官 村上富士太郎君

馬政局次長 石本 寅三君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
裝蹄師法案(政府提出、貴族院送付)
家畜傳染病豫防法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
牧野法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

獸醫師法等ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)
○坪山委員長代理 ソレデハ只今カラ會議ヲ開キマス、小林君ガオ父サンノ御不幸ノ爲ニ歸省サレテ居ルノデ、私ガ代ツテ此ノ席ヲ汚シマス、當委員會ニ付託サレテ居ル案件ハ、裝蹄師法案、家畜傳染病豫防法中改正法律案、牧野法中改正法律案、獸醫師法等ノ臨時特例ニ關スル法律案、此ノ四件デアリマス、是ハ何レモ牽聯ヲ致シテ居ル議案デアリマスカラ、議事ノ進行上一括シテ議題ニ供スルコトガ便宜カト考ヘマスノデ、別ニ御異議ガナケレバ一括シテ議題ニ供シタイト思ヒマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○坪山委員長代理 別ニ御異議モナイヤウデスカラ、四案ヲ一括シテ議題ニ供シマス、此ノ際政府ノ説明ヲ御願スルコトニ致シマス、一岡田政務次官
○岡田政府委員 裝蹄師法案ノ提出ノ理由

ラ説明致シマス、有能馬ノ維持造成ハ蹄ノ保護ニ俟ツ所ガ多ク、特ニ現時局下ニ於テ其ノ必要ヲ、痛感致スノデアリマス、然ルニ專ラ削蹄及裝蹄ヲ業トスル者ニ關シテハ、明治二十三年法律第三十一號蹄鐵工免許規則ガアリマスガ、其ノ内容ハ主トシテ免許手續ヲ規定セルニ過ギズ、其ノ相互ノ連絡統制ヲ缺ク爲、技能向上ヲ圖ルコト甚ダ困難デアアル等、現時ノ情勢ニ即應セザルニ至リマシタノデ、新ニ裝蹄師法ヲ制定スルノ要アリト認メマシテ、右ニ關シ過般馬政調査會ニ對シテ諮問ヲ致シマシタ所、同調査會ニ於キマシテハ、審議ノ結果其ノ答申ヲ決議致サレタノデアリマス、本法律案ハ右ノ答申ニ基キマシテ立案致シタモノデアリマシテ、其ノ規定セントスル重ナル事項ハ三點アルノデアリマス

先ツ第一ハ、裝蹄師ノ免許ノ資格及條件ニ付テデアリマスガ、裝蹄師ノ免許資格ハ、其ノ業態竝ニ必要ナル員數ノ確保ヲ要スル點ニ鑑ミ、大體現行制度ニ規定セル、資格トシ、尙ホ免許ノ條件ニ付テハ、一定ノ缺格條項ヲ設ケタノデアリマス、第二ハ裝蹄師ノ業務ノ範圍ニ付テデアリマスガ、其ノ業務ハ馬ノ削蹄、裝蹄又ハ牛ノ裝蹄トシ、裝蹄師以外ノ者ノ行爲ハ嚴ニ之ヲ取締ルコトト致シタノデアリマス、第三ハ裝蹄師

會ノ設立ニ付テデアリマスガ、裝蹄師ノ統制アル活動ヲ促シ、且ツ技能ノ向上ヲ圖ル爲メ、裝蹄師ヲシテ道府縣ヲ單位トスル道府縣裝蹄師會ヲ設立セシメ、開業ノ裝蹄師ハ之ニ強制加入セシムルコトト、致シタノデアリマス、又道府縣裝蹄師會ハ、内地ヲ、區域トスル日本裝蹄師會ヲ設立シ得ルコトトシタノデアリマス、尙之等ノ裝蹄師會ハ何レモ法人トスル方針デアリマス、何卒御審議ノ上、速ニ御可決アランコトヲ希望致シマス
次ニ今回提出致シマシタ家畜傳染病豫防法中改正法律案ニ付キマシテ、提案理由ヲ御説明申上ゲマス
改正ノ第一點ハ近時「ダニ熱、雛白痢等、家畜傳染性病ノ發生狀況竝ニ豫防研究ノ成績ニ鑑ミマシテ、現在ノ法定傳染病ノ中ニ、新ニ「ダニ熱、家畜「ペスト」、雛白痢ノ三種類ノ傳染病ヲ追加シ、之ガ豫防制遏ニ努メントスルノデアリマス、改正ノ第一點ハ現在家畜傳染病豫防法ノ規定ニ依リ、殺命令ヲ爲シ得ル家畜ノ中ニ、新ニ家畜「コレラ」、家禽「ペスト」及雛白痢ニ罹リタル家畜ヲ加ヘマシテ、地方長官傳染病豫防上必要アリト認ムルトキハ、之等ニ對シテモ殺命令ヲ爲シ得ルコトトシ、傳染病ノ豫防上一層ノ徹底ヲ期シタイト存ズルノデアリマ

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
裝蹄師法案(政府提出、貴族院送付)(第六〇號)
家畜傳染病豫防法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第八五號)
牧野法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第八七號)
獸醫師法等ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)(第九三號)

ス、改正ノ第三點ハ、現行法ニ於キマシテハ、傳染病ニ罹リ、又ハ罹リタル疑アル家畜ノ屍體ハ原則トシテ焼却、埋却致スコトニナツテ居リマスガ、資源不足ノ現情ニ應ジマシテ、是等ノ内豚「コレラ」、豚疫、豚丹毒ニ罹リ、又ハ罹リタル疑アル家畜ノ屍體ニ付キマシテハ、化製ノ方法ニ依リ利用方ヲ許シ、又傳染病ヲ斃レタ牛馬羊豚ノ皮ニ付キマシテハ、消毒ヲ施スコトニ依ツテ、是ガ利用ヲ認ムル等、現下ノ事情ニ即シ適切ナル改正ヲ行ハントスルモゾデアリマス、改正ノ第四點ハ食用ニ供スル目的ヲ以テ、屠場ニ於テ家畜ヲ屠殺致シマシタ後豚「コレラ」豚疫等ノ傳染病ニ罹ツテ居リマスコトヲ發見致シマシタ場合ニ於キマシテハ、從來ハ何等手當金ヲ交付スルコトナク、屍體ヲ焼却埋却セシメテ居リマシタガ、今後ハ是等ニ對シマシテモ、相當ノ手當金ヲ交付スル途ヲ開キ、以テ所有者ノ負擔ノ輕減ヲ圖ルト共ニ、一面ニ於テ傳染病豫防上一層ノ圓滑ヲ期シ度イト存ズルノデアリマス

本改正ハ現下ノ時局ニ對應シ、畜産ノ振興上極メテ適切ナルモノト信ズル次第デアリマシテ、過般中央衛生會ニ諮問致シ、其ノ答申ニ基キ立案致シタモノデアリマス、何卒御審議ノ上、速ニ御可決アラシコトヲ希望致シマス

次デ牧野法中改正法律案ノ提出ノ理由ヲ御説明致シマス、日支事變ニ依リ未會有ノ多數ノ馬ノ徵發ヲ見ル我國ノ現狀ニ於キマシテハ、軍事上竝ニ産業上ノ見地ヨリ、馬ノ増産、及ビ資質ノ向上ハ焦眉ノ急デアリマスガ、之ヲ達成致シマス爲ニハ、牧野ノ整備擴大ヲ圖ルコトガ必要デアリマス、

殊ニ今次事變ノ經驗ニ依リ、國內保有馬ノ資質ノ向上ノ必要ガ痛感セラレマシテ、先年樹立致シマシタ内地馬政計畫ニ於キマシテモ、低身、廣軀ニシテ、四肢強健ナル馬ノ生産ヲ目途ト致シテ居ルノデアリマスガ、之ガ爲ニハ放牧ヲ必要ト致シマスコトハ疑ノ無イ處デアリマス、此ノ如ク牧野ノ必要ハ極メテ緊切ナルモノガアリマスガ、我國ノ牧野ノ現狀ヲ見マス時、其ノ面積ハ狭少デアリ、其ノ改良ハ未ダ不十分デアリ、其ノ維持方法、利用狀態ニ付キマシテモ、幾多遺憾ノ點ガ存スル狀況ニアルノデアリマス、仍ツテ現下牧野ニ要求セラレマス所ノ重大ナル使命ヲ達成スル爲、牧野法改正ノ必要ヲ痛感シ、過般馬政調査會ニ對シ、之ニ關スル諮問ヲ致シ、其ノ答申ニ基キマシテ本法律案ヲ立案シタ次第デアリマス

而シテ、此ノ牧野法中改正法律案ノ内容ノ要點ハ、大體次ノ五ツノ事項トナルノデアリマス、即チ第一ハ牧野特定地ノ制度デアリ、第二ハ民有未利用地ノ牧野化デアリ、第三ハ牧野組合ノ機能ノ強化デアリ、第四ハ牧野經營ノ積極的指導デアリ、第五ハ國營牧野ノ設置デアリマス

先ツ第一ハ牧野特定地ノ制度デアリマス、我國ニ於ケル牧野ハ其ノ改良ガ尙不十分デアリ、又他ノ用途ニ轉換スルコトモ、尠クナイ現狀デアリマスノデ、牧野ノ改良ヲ一段ト促進シ、牧野ニ對スル指導監督ノ周到ヲ期スルト共ニ、併セテ牧野ノ減少ヲ防止スルノ必要ヲ痛感スルノデアリマス、然ルニ現行法ニ於キマシテハ、此ノ點ノ規定ニ付キ缺クル所ガ少クアリマセヌノデ、茲ニ牧野特定地ノ制度ヲ設ケ、是ガ要望ヲ滿サントスルノデアリマス、即チ特ニ牧野トシ

テ保護スル必要アルモノヲ、牧野特定地ニ指定シ、牧野特定地ニ付テハ、其ノ改良維持ノ促進ニ關シ、諸般ノ命令ヲ發シ、又必要ニ應ジテ牧野組合ノ設立ヲ命ジ、更ニ又牧野特定地ニ於テハ行政官廳ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ、其ノ牧野ノ保護ヲ妨グル虞アル行爲ヲ爲スコトヲ得ザラシメントスルノデアリマス

次ハ第二ノ民有未利用地ノ牧野化デアリマス、從來北海道等ニ於キマシテハ、御料地又ハ國有地ノ拂下ヲ受ケ、之ヲ殆ンド利用スルコトナク放置シテアルモノガ、相當面積ニ上ルノデアリマスガ、此ノ中牧野ニ適スル土地ヲ牧野トシテ利用セシムルコトハ、極メテ適切ナルコトト存ジマスノデ、道府縣、市町村、牧野組合、畜産組合又ハ畜産組合聯合會ガ、特ニ馬ノ牧野ヲ設ケントスル場合ニ於キマシテハ、必要ニ應ジテ之ヲ使用收用シ得ルノ途ヲ拓イタ次第デアリマス

第三ニ牧野組合ノ機能ノ強化デアリマス、牧野組合ハ牧野改良發達ノ基礎トシテ、極メテ重要ナルモノデアリマスガ、之ガ活動ノ促進ハ最モ必要ト認ラレマスノデ、其ノ機能ヲ擴大シ、牧野ノ經營ニ當ルコトヲ得ルコトトシ、其ノ他總代會ノ制度ヲ設ケテ事務ノ簡捷ヲ圖ル等、牧野組合ノ使命達成ニ遺憾ナカラシメントスルヲ、期シタ次第デアリマス

第四ニ牧野經營ノ積極的指導ニ付テハ、先ツ第一ニ現在牧野ガ荒廢シ、其ノ利用ノ粗放ナル原因ハ、牧野ニ適當ナル技術者ノ存セザルコトニ依ルモノガ少クナイト認メラレマスノデ、政府ハ必要ニ應ジ、牧野組合等ニ對シ、牧野技術者ノ雇入ヲ命ジ、之

ニ對シテハ國費ヲ以テ補助ヲ與ヘントスルノデアリマス、尙ホ牧野ヲ十分ニ利用シ、内地馬政計畫ノ遂行ヲ圖ランガ爲、必要ニ應ジテハ馬ヲ一定ノ牧野ニ放牧スベキ命令ヲ發シ得ル途ヲモ、開イタノデアリマス、最後ニ、以上ノ如ク民營牧野ノ擴大整備ニ關スル諸方策ヲ講ズル外ニ、民間經營ニ依ツテハ、十分ニ其ノ成績ヲ擧グルコト困難ト認メラルモノニ付テハ、必要ニ應ジ、政府自ラ牧野ヲ經營シテ、有能ナル馬ノ造成ヲ圖リ、馬政ノ遂行ニ遺憾ナキヲ期セントシタ次第デアリマス

尙本法ノ運用ニ付キマシテハ、牧野委員會ヲ設ケ、民間ノ有識者ヲ其ノ委員ニ加ヘ、牧野特定地ノ指定又ハ其ノ取消竝ニ民有未利用地ヲ、牧野化スル場合ニ於ケル行政官廳ノ認可ニ付キ、其ノ意見ヲ徵スルコトトシ、其ノ運用ニ萬全ヲ期シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上、速ニ御可決アラシコトヲ希望致シマス

次ニ獸醫師法等ノ臨時特例ニ關スル法律案ニ付キマシテ、提案理由ヲ御説明申上ゲマス

本法案ハ現時局下ニ於テ、著シク獸醫師ノ不足シテ居リマス實情ニ鑑ミ、臨時的措置ト致シマシテ、新ニ獸醫手ナル制度ヲ設ケテ、之ガ緩和ヲ圖ラントスルノデアリマス、即チ事變ニ伴ヒ獸醫師ノ應召等ニ依リ軍務ニ服スル者多キニ加ヘマシテ、時局下ニ於ケル畜産生産力擴充計畫遂行上、内外地及ビ大陸ニ於テ、獸醫師ノ需要ガ急激ニ増加致シマシタ爲、現在ノ獸醫師ノ數ヲ以テシテハ、到底之ガ需要ヲ充シ能ハザル状態ニアルノデアリマス、故ニ政府ト致シマシテハ、別途ニ高等農林學校ニ於ケル獸醫師養成施

設ヲ増設シ、新ニ相當多數ノ獸醫師ヲ養成シ得ル見込ヲ立テマシタガ、之等ノ數ヲ以テ致シマシテモ、到底當面多數ノ獸醫師ノ不足ヲ補フコトハ不可能デアリマス上ニ、是等ノ者ハ概ネ國、道府縣、學校等、主トシテ中樞の方面ノ需要ニ充當セラルル傾向ニアリマシテ、銃後畜産業ノ第一線ニ立ツ畜産關係團體ニ於ケル獸醫技術者ノ不足ヲ補フコトハ出來ナイノデアリマス、是ヲ以テマシテ政府ハ事變下ニ於ケル臨時的措置ト致シマシテ、獸醫手ナル制度ヲ設ケ、大學、實業專門學校又ハ實業學校ニ於テ、一定年限又ハ一定時間以上、獸醫學ヲ修メタル者又ハ新ニ設ケマス所ノ資格試験ニ合格シタル者ニ對シマシテ免許ヲ與ヘ、是等ノ者ガ市町村、畜産組合等ノ團體ノ職員タル場合ニ於テ、獸醫師法ノ制限ニ拘ラズ、業務トシテ團體ノ專業ニ屬スル家畜ノ疾病ノ診療ヲ爲スコトヲ得セシメ、以テ急迫セル獸醫師ノ不足ニ對處シ、時局下ニ於ケル軍馬資源ノ確保、及ビ畜産生産力ノ擴充上、遺憾ナキヲ期シタイト存ズルノデアリマス

本法案ハ現下ノ時局ニ對應シ、畜産ノ振興上極メテ適切ナルモノト信ズル次第デアリマシテ、過般中央衛生會ニ諮詢致シ其ノ答申ニ基キ立案致シタモノデアリマス、何卒御審議ノ上、速ニ御可決アランコトヲ希望致シマス

○坪山委員長代理 議案審議上必要ナル資料ノ御要求ヲ、此ノ際ナサルコトガ好都合ト思フノデアリマスガ、御希望ノ方ハ御申出ヲ願ヒマス

○小笠原委員 私カラ資料ノ要求ヲ申上ゲマス、先ヅ牧野問題ニ對シマシテハ、今後ノ牧野開放ノ豫定地面積並ニ是等ニ對スル

管理者、是ハ個人トカ畜産組合トカ、或ハ府縣聯合會ト云フヤウニ區分シテ、各道府縣ニ別ケテ資料トシテ出シテ貰ヒタイ、ソレカラ從來ノ牧野ノ限定地面積並ニ是等ニ對スル管理者モ同様ニ各道府縣ニ區別シテ出シテ貰ヒタイ、其ノ次ハ馬政局ノ機構デアリマスガ、是ハ各都各課ニ分ケマシテ、其ノ名稱、部長課長ノ氏名、殊ニ各課ノ分擔事務ヲ成ベク細カク御示ヲ願ヒタイ、去勢關係デアレバ、去勢ハ下ノ課で行フ、生産ノ方ニ對シテハドウ、育成ニ對シテハドウ、斯ウ云フ風ニ細カク御示ヲ願ヒタイ、次ハ昭和十三年ト十四年ト二箇年ニ於テ購買シタ所ノ二歳又ハ三歳ノ候補種牡馬、是ハ二歳ト三歳トニ區別ヲシテ、購買地並ニ購買官名、頭數、種類、價格、體高、管胸圍、生産地ノ名稱、各購買地毎ニ區分シテ、馬名ト一緒ニ之ヲ資料トシテ出シテ貰ヒタイ、其ノ次ハ種牝馬ノ方、十四年度ニ於テ農林省デ購買シタモノデアリマスガ、頭數ト各一頭々々ノ價格、種類、馬名、體高、管胸圍、年齡、購入先、購買官名、次ハ昭和十三年、十四年度ニ於キマシテ、此ノ購買シタル種牝馬ヲ全國ニ配給シタル頭數並ニ其ノ場所、配給シタル馬ノ種類、其ノ馬ノ購買地、購買官名並ニ其ノ價格、其ノ次ハ十四年度ニ於テ二歳幼駒ヲ日本競馬協會デ購買シタル頭數、體高、管胸圍、牝牡ニ色分ケラシテ戴キタイ、次ハ全國ニ於テ昭和十二年、十三年、十四年度ニ於ケル所ノ傳染性貧血症ニ因ツテ死亡シタ馬ノ頭數、是ハ各府縣別ニ分ケテ貰ヒタイ、次ハ全國ニ於ケル流産馬數デアリマス、是ハ十二年、十三年、十四年、又其ノ流産馬ノ中デ傳染性ニ因ルモノト其ノ他ノモノト區別ヲシテ戴キ

タイ、次ハ日本獸醫師ノ數デアリマス、是ハ各道府縣別ニ分ケテ、其ノ上ニ又專門學校出ト中等學校出ト區別ヲシテ、ソレカラ現在開業醫ト其ノ他、斯ウ云フ二ツニ區別ヲシテ出シテ貰ヒタイ、ソレカラ是ハ全部調ベハ付クカ付カヌカ分ラヌガ、何分出來ルダケ内容ヲ教ヘテ戴キタイノデスガ、日本競馬協會ニ於テ各競馬場ニ於ケル所ノ、十四年度ダケデ宜イデスカラ、純益金及ビ日本競馬協會ニ於ケル收益金ノ使途、ソレヲモ明ニシテ戴キタイ、ソレカラ尙ホ農林省デ購買シテ居ル所ノ種牡馬ノ價格デアリマスガ、平均價格デ宜イノデアリマスカラ、二十箇年前カラ御示シヲ願ヒタイ、サウシテ年別ニ分ケテ、最高馬ト最低馬ヲ加ヘテ戴キタイ、ソレカラ更ニ軍馬ノ方ノ購買價格デアリマス、是モ平均價格デ宜イノデアリマスカラ、二歳、三歳、四歳、五歳ト分ケマシテ、二十箇年前カラノ平均價格ト最高最低馬トヲ御示シヲ願ヒタイ、ソレカラ今度ノ獸醫師法ノ改正ニ依リマシテ、一旦廢止サレマシタ所ノ中等學校ノ農學校ニ對シテ、獸醫科ヲ復活スル學校ガ幾ツデアルカ、之ヲ府縣別ニ分ケテ御示シヲ願ヒタイ、ソレダケヲ要求シマス

○深澤委員 今ノ資料ノ中ニ重複シタノガアルカモ知レマセズガ、重複シタノハ除イタ積リデアリマス、牛馬羊増殖目標、詰リ馬ハ何處マデ、牛ハ何處マデ、羊ハ何處マデト云フ目標、ソレカラ有能馬一頭ハ、是ハ四歳馬デ宜イノデスガ、政府ノ御調べニナツタ育成費ハ幾ラカ、ソレカラ全國ノ農家ノ牛馬ノ所有ト云フモノヲ現在ドレ程所有シテ居ルカ、農家數ト牛馬ノ比例デアリマス、ソレカラ採草地ノ從來ノ地力維持ノ經過、ソレカラ現在計畫セル放牧地ノ收容牛馬ノ見込數、ソレカラ計畫ノ中デ耕地、放牧地、山林ト、斯ウアリマスガ、是ノ比例ハドウ云フ方針デアアルカト云フコトヲ、數字デ示シテ貰ヒタイ、ソレカラ現在此ノ計畫ニ伴フ獸醫師ノ數ト云フモノヲドレ程殖ス御見込カ、其ノ見込數、以上ノ資料ヲ御願シマス

○村上政府委員 只今牛馬ノ數ト云フモノハ公表シナイコトニナツテ居リマスカラ、文書デ出スノハ御勘辨願ヒタイ、適當ノ時ニ適當ニ申シマス

○小笠原委員 只今ノ資料ノ要求ノ中デ、育成費關係ノコトデアツタノデアリマスガ、私モソレト一緒ニ育成費ハ之ヲ牝牡ノ區別ヲシテ戴イテ、尙ホ生産當歲カラ種牡馬ニ至ルマデノ年別ニ分ケナイト云フト、育成費ガ分ラナイダラウト思ヒマスカラ、年別ニ分ケテ御示シヲ願ヒタイ、即チ當歲ノ方ハドレ程、二歳ハドレ程、三歳ハドレ程、四歳、五歳ハドレ程、其ノ程度デ宜イノデアリマス、其ノ上ハ同様ダト思ヒマスカラ、其ノ點ヲ御示シヲ願ヒタイノデアリマス、尙ホ軍馬ノ方ノ育成費ガ二歳デ購入シテカラ、隊ニ移管スルマデノ間ノ年別ニ分ケタ育成費、ソレヲ同時ニ御示ヲ願ヒタイノデアリマス

○深澤委員 今數字ヲ御願シタノハ無理ト思ヒマスガ、ソレデ今カラ例ヘバ十箇年前ヲ百ト致シマシテ、牛馬ト云フモノガ百ニ對シテドウ云フ風ニ線ヲ上リ下リシテ居ルカト云フコトヲ、御示シ願ヒタイト思ヒマス

○村上政府委員 是ハ牛ハ全部公表シテ差支ナイ、馬ハ結局昔百五十万頭ト云ツテ居

マシタノデ、ソレカラ幾ラカト云フコトニナルト、結局今ノ數ガ分ルコトニナリマスカラ、數字デ出スコトハ……

○深澤委員 分リマシタ

○坪山委員長代理 只今色々細カイ資料ノ御要求ガアリマシタガ、政府ノ方デ聽取漏レノ點ガアルトイケマセスカラ、書面ニ書イテ後程オ出シ願フ方ガ好都合デゴザイマス、ソレカラ私カラモ一ツ簡單ナモノデスが御願シマス、鍛鍊中央會ノ十五年度ノ收支豫算ノ明細書、ソレニ附加ヘテ現在何人位ノ人員ガ居ルカ、政府デ目論シタ全部ノ競馬場ガヤルヤウニナツタ場合ニドレダケノ人員ヲ必要トスルノカ、ソレダケノ資料ヲ御願シテ置キマス

○深澤委員 ソレニ附加ヘテ英吉利、佛蘭西、獨逸、亞米利加、此ノ四國ノ馬ノ數、牛ノ數ヲ御願シマス

○坪山委員長代理 本日ハ都合ニ依ツテ此ノ程度デ終リタイト思ヒマス、明日カラハ引續キ會議ヲ續行スルコトトシテ、目下委員課ニ交渉中デアリマス、速記ノ都合ノ付ク範圍ニ於テ早ク議事ヲ進行致シタイト思ヒマス、本日ハ是デ散會致シマス

午前十一時二分散會